

そらいろデイから南に歩くこと15分。阿武隈川の土手の上行くと360度のパノラマが広がります。西に安達太良、吾妻、そして東には霊山がはるかに見渡せます。まもなく雪の季節がやってきます。



だより

令和2年

12月号

「そらいろデイ」でリフレッシュ

吉沼地区のサロンメンバーのみなさんが集合！

吉沼地区のサロンメンバーのみなさん10人が、見学を兼ねて「そらいろデイ」にやってきました。はじめに、皆さんが持ち寄ったお菓子やリンゴを食べながらお互いの近況を報告しあいました。

この後は秋の風物詩ともいえる「柿」にちなんだクイズに挑戦。「みしらず柿」の名前の由来や「柿食えば鐘が鳴るなり法隆寺の作者は」をはじめ、「桃栗3年柿何年？」など、トンチの効いたクイズに頭をひねったり、腕をこまねいたり。

一休みを挟んで行われたのが吉沼サロンで一番人気ゲーム「パタパタ」です。このゲームは、5人ずつ2チームに分かれて、タコ足のように切ったビニール袋を団扇で扇ぎ相手チームに落とすゲームです。

この日はヒマワリチームとチューリップチームの対戦。簡単なゲームですが、いざ始まると夢中になって真剣勝負。我を忘れてあおぎ続けます。パタパタゲームでひと汗かいたあとは、「高原列車は行く」「上を向いて歩こう」「椰子の実」など懐かしい歌を全員で歌ってお開きとなりました。



スタッフ手づくりの大きな歌詞カードをみながら、全員で懐かしい唱歌や歌謡曲を歌いました。

パタパタゲームで本気勝負
「高原列車は行く」「椰子の実」を熱唱

りょうぜん里山がっこうの「めだかの学校」のメンバー

そらいろデイに12月19日、りょうぜん里山がっこうから「めだかの学校」のメンバーたちが10人が見学と研修にやってきます。

「めだかの学校」は県の人材育成事業の一つで、メンバー1人ひとりがそれぞれテーマと目標を決め、約3年間の研修を通して自己研鑽を積むというものです。今回は、高齢期の元気な暮らしや介護をテーマに、生活ケアを実践するそらいろデイでフィールドワークを行うことになりました。

この日はそらいろデイの施設見学をはじめ、高齢期のいきいきを引き出す介護の本質について意見を交換したり、簡単なゲームを通して夢中になることが高齢期の「生き生き」を引き出すことを実体験するなど、そらいろのケアに触れていただきます。

そらいろでフィールドワーク
十二月十九日に見学&体験セミナー



見学、体験受付中
お気軽にご相談ください



そらいろデイ 空き情報 (令和2年11月末現在)

	月	火	水	木	金	土	日
7時間以上8時間未満 定員7人	◎	◎	◎	◎	◎	◎	休
入浴	◎	◎	◎	◎	◎	◎	

◎=十分に空きがあります。○=空きがあります。△残りわずかです。空き情報につきましては、△の場合でもご相談ください。

電話 024-582-3558 FAX024-597-6317